

山口大学(学部入学定員:2,562人)

[取組学部・研究科等: ○工学部(530人),理工学研究科(359人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】工学部における教育内容の国際化と教職員のグローバル教育力強化を図り、東南アジア・東アジア地域で活躍する技術系人材を育成するものであり、学部卒業時には、『異文化を理解し、海外で働く自覚を持つ人材』を、また、理工学研究科終了時には、『国際技術者としての基礎力と海外企業で働く自信を持つ人材』を育成することを目的とする。

【構想の概要】グローバル技術者養成センターを設置し、社会建設工学科東アジア国際コースにおいて実績あるグローバル化教育プログラムを工学部・理工学研究科全体に拡大・展開するとともに、グローバル技術者に必要な語学力、国際的視点、自覚と誇りを培うための様々な新たな取組を実施する。

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

- 工学部社会建設工学科東アジア国際コースで培ってきたグローバル人材教育を工学部全体に展開し、教育内容の国際化と教職員のグローバル教育力強化を図る
- 最初のグローバル人材「長州ファイブ」を輩出した明治維新の地に根付く人材育成のDNAを21世紀に継承

**目的** 工学部における教育内容の国際化と教職員のグローバル教育力強化を図り、**東南アジア・東アジア地域で活躍する技術系人材を育成**

**本構想での取組み**

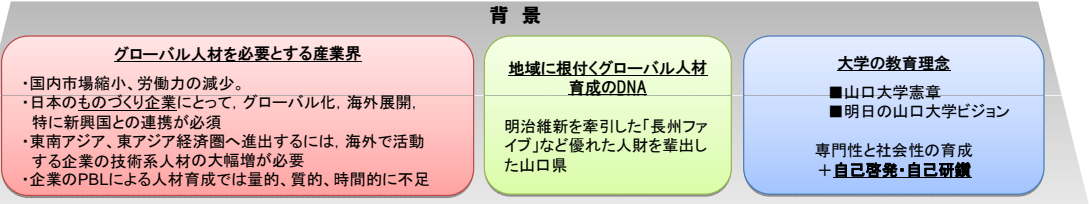
- 国際的視点を獲得する教育カリキュラム
  - ✓「山口と世界」(山口学:産業史・維新史からみる山口と世界等)
  - ✓東アジア文化論、異文化セミナー等
  - ✓海外赴任経験のある実務家による講義
- 自己研鑽力に対する取組
  - ✓キャリア教育
  - ✓海外インターンシップ
  - ✓国際技術協力特論(社会建設工学専攻)
- 語学力を獲得する教育カリキュラム(海外赴任に必要なTOEIC650点を学生定員の1割達成が目標)
  - ✓テクニカルコミュニケーションⅠ、Ⅱ、上級
  - ✓単位取得目的の留学
  - ✓海外大学との研究室単位の交流
  - ✓国際学会発表
  - ✓英語で学ぶ「山口と世界」

**これまでの取組み**

社会建設工学科東アジア国際コースにおいて、平成15年より先導的にグローバル人材育成を実施(平成15年～現在、卒業生140人)

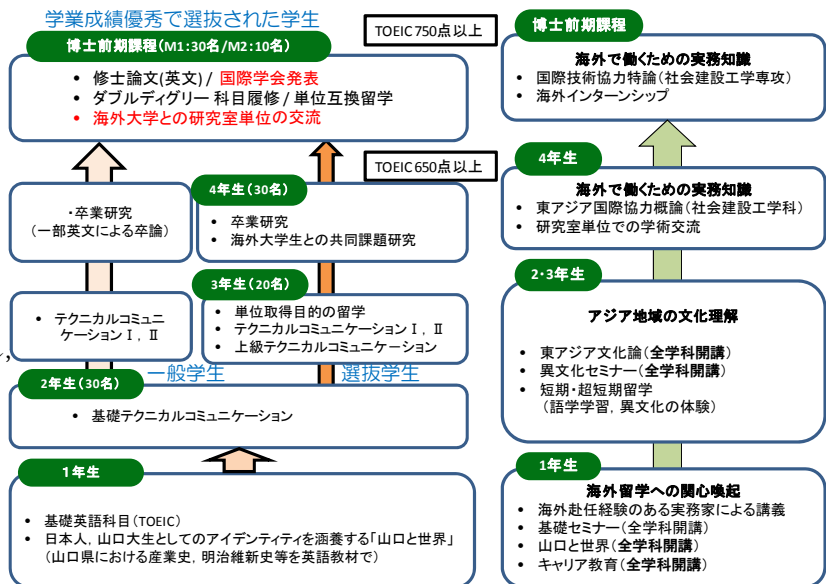
- 語学力および国際的視点等を獲得する教育カリキュラムの開発と実施
- 外国人教員の雇用および独自の留学プログラムの実施
- 教材、教育法などを独自開発
- 過去8年間、社会建設工学科の概ね10%を超える学生の留学を実現
- 国際会議での発表実績、海外大学大学院への入学
- 海外大学・企業への就職などの人材育成実績

- ASEAN・東アジア新興国のダイナミズムを取り込み、未来の日本を担うグローバル技術系人材を養成



## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

- 学部入試、大学院入試において外国語能力や留学・在外経験を評価
- 共通教育における英語教育に加え、2年次以降の専門教育の中で、工学部独自の語学教育(習熟度別語学クラス)を導入し効率的な語学教育を実施



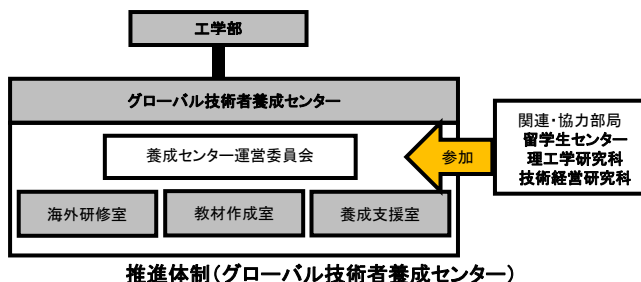
## ■ 教員のグローバル教育力の向上

- 工学部にグローバル技術者養成センターを設置し、教育課程のグローバル化を推進
- 同センター・養成支援室を中心に以下を実施:
  - グローバル技術者を養成する教員の採用・増強
  - 多言語による事務手続きが可能な事務系職員を採用・養成し、学部学生の留学支援体制を整備
  - グローバル技術者養成の教育方法を開発
  - Webによる教育情報(多言語)の発信

## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

- フレッシュマンセミナー、技術系人材の国際化に関する特別講演等により、1年次から留学のための動機づけを実施
- 留学による教育効果、就職活動への反映などを説明し、学生に留学の意義を浸透
- 養成センター・海外研修室において海外留学プログラムを開発
- 海外留学促進と学生の経済的負担の軽減のために、留学奨学金の充実を図る

語学力向上に対する取組      国際的視点・自己研鑽力に対する取組



推進体制(グローバル技術者養成センター)

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

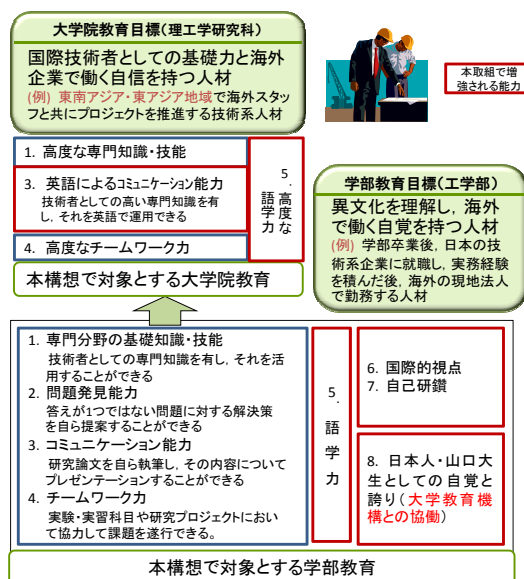
本構想で育成するグローバル人材像は次の通りである:

- ①異文化を理解し、海外で働く自覚を持つ人材(学部教育)
- ②国際技術者としての基礎力と海外企業で働く自信を持つ人材(大学院教育)

前者①は学部教育を通して育成する人材像であり、例えば、学部卒業後、日本の技術系企業に就職し、・実務経験を積んだ後、海外の現地法人で勤務する人材、・資材調達・製品納入など海外との交渉・取引を担当する人材等を想定している。

後者②はさらに大学院における専門教育を通して育成する人材像であり、大学院修了後、例えば:・日本の技術系企業に就職後、海外現地法人に勤務し、本社の方針と現地の経営環境との調整を図り、専門技能を駆使して地域横断的にプロジェクトを推進する人材・海外企業や日系現地企業に就職し、多国籍のメンバーから成る現地のプロジェクトチームを率いる人材等を想定している。

本構想で掲げるグローバル人材が備えるべき具体的能力を右図のように8つの能力に整理し、山口大学の教育目標や特色に照らしながら教育を行う。



本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満たす学生数				5人	15人	35人	55人
うち海外留学未経験者数 (A)				5人	5人	10人	10人
海外留学経験者数 (B)		3人	10人	20人	45人	60人	80人
卒業[予定]者数 (C)		571人	530人	530人	530人	530人	530人
比率 ((A+B)/C)				4.7%	9.4%	13.2%	17.0%
工学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC 650		5人(5人)	15人(5人)	35人(10人)	55人(10人)
	海外留学経験者数	3人	10人	20人	45人	60人	80人
	3カ月未満	3人	10人	20人	42人	55人	70人
	3カ月～1年	0人	0人	0人	3人	5人	10人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		571人	530人	530人	530人	530人	530人

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。